

第4次伊勢市子ども読書活動推進計画（案）について

1 パブリック・コメント実施の概要

- (1) 意見募集した案件
第4次伊勢市子ども読書活動推進計画（案）
- (2) 意見募集方法
伊勢市公報、伊勢市ホームページ、伊勢市広報紙、ケーブルテレビ文字放送
- (3) 縦覧場所（20 か所）
社会教育課、伊勢市役所（本館1階市民ホール、2階総務課）、
各総合支所生活福祉課、各支所、伊勢図書館、小俣図書館、
生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター、いせ市民活動センター
- (4) 意見提出の対象者
伊勢市内に在住、通勤又は通学している人など
- (5) 意見募集の期間
令和4年12月5日（月）から令和5年1月10日（火）まで

2 意見募集の結果

意見数 2人（2件）
【内訳】提出方法別（オンライン提出 2人）

3 意見内容及び市の考え

No.	寄せられたご意見	市の考え
1	17 ページ 私は学校司書として働いています。 計画案の最後に掲載されていたアンケート結果を拝見し、子どもたちの読書習慣を継続させることの難しさを改めて感じました。 学年が上がるにつれて、特に中学生になるとそここのところが顕著で、子どもたちのライフスタイルの変化もあって難しいところだとは思いますが、せっかく身についた習慣がもったいなく感じました。子どもたちの成長に合った図書館利用を長い目でサポートしていく、ということから、第3章3の②（17 ページ）に挙げていただいている、専門的な人材の配置拡充について、ぜひご検討ください。	頂戴しましたご意見は、計画を推進するための担い手についての視点と認識しております。 推進体制の整備（23～24 ページ）に記載されている学識経験者、学校教育関係者や読書ボランティアなどで組織する「子ども読書活動推進会議」と、関係各課などの担当で組織する「子ども読書活動推進連絡会議」の両会議が連携して、計画を着実に推進していくためのより効果的な施策について、検討することとなっています。 このことから、いただいた計画

	<p>また、3の③については、学校図書館スタッフや教育支援ボランティアといった方々が希望する研修に参加できるような体制も、必要になってくるのではないかと感じました。(今までそのような機会がなかったのであれば、ということで、現状が分からないまま書いています。申し訳ありません。)</p>	<p>(案) に対するご意見については原案のまま変更しないこととし、両会議の中で効果的な施策を検討することとします。</p>
2	<p>17 ページ</p> <p>現在は民間委託によって、市内の小中学校へ図書館スタッフが配置されているようですが、開館時間が限られているなどの課題があると思います。</p> <p>学校図書館は、授業時間も休み時間も放課後も開いていて、いつでも子どもたちの学びを支援できる場所であってほしいと思います。</p> <p>また、学校のスタッフの一員として、学校の状況や普段の子どもたちの様子を知っている職員が図書館を運営すれば、それぞれの学校に合った、よりよい図書館がつくられることでしょう。ぜひ、市が直接雇用する学校司書を各校に1名ずつ配置していただきたいと思います。</p>	

4 意見募集結果による修正の有無

修正なし

5 今後のスケジュール (予定)

令和5年3月 伊勢市子ども読書活動推進会議での調整 (最終案)
教育委員会へ提案 (承認) 及び公表